

## IBM Omni-Channel Merchandising

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、契約を結ぶ当事者、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者を意味します。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別途「取引文書」として提供されます。

### 1. クラウド・サービス

#### 1.1 IBM Price Management

IBM Price Management により、小売業者は、規定の品目に対する料金を決定し、料金設定規則の適用により全料金を長期間維持することで、料金設定戦略を実行できます。小売業者は IBM Price Management を使用して、シナリオのセットアップ、料金設定規則のカスタマイズ、自社マーチャンダイズのすべてに関するシステム規則と料金の設定、および、定期的なベンダー・コストや競合料金などのデータ変更への対応を行うことができます。

#### 1.2 IBM Price Optimization

IBM Price Optimization により、小売業者は、シミュレーションおよび最適化のためのシナリオを作成して実行することができます。当該シナリオにおいて、小売業者は、収益、利益、および販売数量の増加といった戦略的目標を明確にし、こうした目標を最も効率的に達成するために料金を最適化します。

#### 1.3 IBM Dynamic Pricing

IBM Dynamic Pricing により、小売業者は、自己のオンライン・チャンネル向けに料金設定戦略を定義し、実行することができます。IBM Dynamic Pricing は、規定の品目について料金を決定し、料金設定規則の適用を維持します。小売業者は、IBM Dynamic Pricing を使用して、戦略、しきい値、カスタマイズされた料金設定規則を設定し、製品の価格設定を実行することができます。さらに、IBM Dynamic Pricing により、小売業者はベンダー・コストや競合料金などのデータ変更 (定期的に削除されます。) に対応することができます。IBM Dynamic Pricing は、例外およびトレンドを可視化し、小売業者が自ら定義した例外およびトレンドのみに注目できるようにします。

#### 1.4 IBM Promotion Planning

IBM Promotion Planning は、品目レベルおよびグループ・レベルのプロモーションをセットアップして管理するための、Web ベースの協業的なインターフェースを提供します。これには、料金、有効日、パフォーマンスの詳細、および場所などが含まれます。IBM Promotion Planning により、小売業者は、プロモーション・オファーの単一ポジトリーを構築して、可視性および説明責任を向上させることができ、エラーの削減を促して、実施を簡素化します。

#### 1.5 IBM Promotion Optimization

IBM Promotion Optimization は、お客様が、それぞれのマーチャンダイジング目標およびマーケティング目標の達成につながる最適なプロモーションをリアルタイムで決定できるように支援します。小売業者は IBM Promotion Optimization を使用して、後継のベンダー・オファーを評価して予測したり、プライベート・ラベルやその他のプロモーションを計画したりします。IBM Promotion Optimization は、小売業者が、品目またはプロモーション対象の品目グループの割引料金、一時的な値下げのタイプ (1 つ購入すると 1 つもらえる、パーセント割引、および数量割引)、およびマーチャンダイジング・サポート (広告や表示など) の使用のほか、広告内での特定の配置などを決定して、各プロモーションの増分引き上げおよび総合的な店舗への影響を最大限に引き出します。

#### 1.6 IBM Markdown Optimization

IBM Markdown Optimization により、小売業者は、品目の料金設定、利益および在庫の各レベルを計画したり、最適化したりできます。これにより、品ぞろえが作られます。IBM Markdown Optimization は、季節ごとの値下げ、短期製品ライフサイクルの値下げ、イベントや休日に関連する値下げ、カテゴリー再

設定による値下げ、サイクルの更新による値下げ、および標準割引による値下げなど、さまざまな値下げタイプをサポートします。小売業者は、複数の値下げ料金設定シナリオを作成、予測、比較、評価して、それぞれの値下げ戦略を微調整することもできます。

## 1.7 IBM Deal Management

IBM Deal Management により、小売業者は、Web ベース環境で消費者製品メーカー取引先から受け取るトレード・プロモーションのプレゼンテーション、交渉および調整を自動化したり、簡素化したりすることができます。

## 1.8 IBM Deal Management: Bill Distribution Module

IBM Deal Management: Bill Distribution Module により、小売業者は、消費者製品メーカー取引先に対する PDF 請求書生成の自動化および安全な配布を通じて、処理サイクル時間の短縮、売掛金回転率の改善、人によるエラーの削減ができるようになります。

## 1.9 IBM Omni-Channel Merchandising Preview

IBM Omni-Channel Merchandising Preview により、お客様は、近日予定されているリリースをプレビューして、新機能または更新機能に備えることができます。

## 2. コンテンツおよびデータ保護

「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(「データ・シート」)には、処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却に関する仕様書に関する、「クラウド・サービス」に固有の情報が記載されています。「クラウド・サービス」およびデータ保護機能に関する詳細または説明および条件(お客様の責任を含みます。)がある場合には、本条に記載されます。お客様が選択したオプションにより、「クラウド・サービス」のお客様による使用に適用される「データ・シート」が複数ある場合があります。「データ・シート」は英語のみの提供となります(現地言語での提供はありません)。現地の法律または慣習の慣行にかかわらず、両当事者は英語を理解していること、および「クラウド・サービス」の取得および使用に関して英語が適切な言語であることに同意します。以下の「データ・シート」が「クラウド・サービス」およびその利用可能なオプションに適用されます。お客様は、i) IBM が、IBM のみの裁量により、「データ・シート」を随時変更することができ、かつ ii) かかる変更された内容が変更前の内容に置き換わることを承諾します。「データ・シート」に対する変更は、i) 既存のコミットメントの改善もしくは明確化、ii) 最新の採用された基準および適用法への整合の維持、または iii) 追加コミットメントの規定のいずれかを行うことを意図しています。「データ・シート」のいかなる変更も「クラウド・サービス」のデータ保護を著しく低下させるものではありません。

適用される「データ・シート」へのリンク:

IBM Price Promotion Optimization

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=1413336770378>

IBM Dynamic Pricing

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=CA94AEB078A811E7ACE8EE5CF6073F72>

お客様は、「クラウド・サービス」の利用可能なデータ保護機能を注文、有効化、または使用するために必要な対策を講じる責任を負うものとします。お客様がかかる対策を講じることを怠った場合(「コンテンツ」に関するデータ保護またはその他の法的要件を満たさないことも含みます。)には、お客様は「クラウド・サービス」の使用に対して責任を負います。

EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、<http://ibm.com/dpa> にある IBM の「データ処理補足契約書」(DPA) および「DPA 別表」が適用され、本契約の一部として参照されます。本「クラウド・サービス」に適用可能な「データ・シート」は「DPA 別表」の位置づけです。DPA が適用される場合、「復処理者」の変更の通知を提供する IBM の義務およびかかる変更に関する異議を申し立てるお客様の権利は、DPA に規定されるとおり適用されます。

## 2.1 データの利用

IBM は、お客様の「クラウド・サービス」の利用によって生まれるお客様の「コンテンツ」に固有のものである結果（「洞察」）や、お客様を特定できる結果を利用したり開示したりしません。ただし、IBM は、個人を特定する情報を削除し、追加情報を用いなければいかなる個人情報も特定の個人に結びつけることができないようにしたうえで、「クラウド・サービス」を提供する過程で、「コンテンツ」および「コンテンツ」に由来するその他の情報（「洞察」を除きます。）を使用できます。IBM は、研究、テスト、およびオフリング開発の目的でのみ、このデータを使用します。

お客様は、テクニカル・サポートに連絡をすることで、かかる非実稼働目的においてお客様のデータを使用しないことを選ぶことができます。

## 3. サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、「PoE」に記載するとおり、「クラウド・サービス」に関して、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント（以下「SLA」といいます。）を提供します。「SLA」は保証ではありません。「SLA」はお客様にのみ提供され、実稼働環境における使用に対してのみ適用されます。

### 3.1 可用性クレジット

お客様は、「クラウド・サービス」が利用できず、業務に重大な影響が及んだことを最初に知り得たときから 24 時間以内に、IBM テクニカル・サポート・ヘルプデスクに対して「重要度 1」のサポート・チケットを記録するものとします。お客様は、あらゆる問題診断および解決に関して IBM を合理的な範囲で支援するものとします。

「SLA」の未達を申告するサポート・チケットは、契約月の末日から 3 営業日以内に提出するものとします。有効な「SLA」の申告に対する補償は、「クラウド・サービス」の実稼働システム処理が利用できない時間（以下「ダウンタイム」といいます。）に基づいた「クラウド・サービス」の将来の請求に対するクレジットになります。「ダウンタイム」は、お客様が当該事象を報告した時点から「クラウド・サービス」が復元される時点までの間で計測され、次のものに関連する時間は含まれません。保守のための計画停止または発表された停止、IBM の支配の及ばない原因、お客様または第三者のコンテンツもしくはテクノロジーの問題または設計もしくは指示、サポート対象外のシステム構成およびプラットフォームまたはその他お客様による誤り、またはお客様に起因するセキュリティーに関する事故もしくはお客様によるセキュリティー・テスト。IBM は、下表のとおり、各契約月における「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。各契約月の補償の合計額は、「クラウド・サービス」に対する年額料金の 12 分の 1 の 10% を超えないものとします。

バンドルされた「クラウド・サービス」の場合（個別の「クラウド・サービス」オフリングをパッケージ化し、単一オフリングとして、単一の合算料金で販売しているもの）、補償は、バンドルされた「クラウド・サービス」に対する 1 つにまとめられた月額料金に基づいて計算されるものであり、各個別「クラウド・サービス」に対する月額サブスクリプション料金に基づいて計算されるものではありません。お客様は、1 つの個別「クラウド・サービス」に関する請求のみ、一度にまとめて提出することができます。

### 3.2 サービス・レベル

「契約月」における「クラウド・サービス」の可用性

「契約月」における可用性	補償 (申告の対象である「契約月」における「月額サブスクリプション料金」* の割合)
99.9% 未満	2%
99% 未満	5%
95% 未満	10%

\* 「クラウド・サービス」が IBM ビジネス・パートナーから取得されたものである場合、月額サブスクリプション料金は、申告の対象である「契約月」に対して有効な「クラウド・サービス」のその時点で

の最新の表示価格に基づいて計算され、それを 50% 割引した額となります。IBM は、直接お客様に払い戻します。

「可用性」は、以下のとおり算出されます。契約月における分単位の総時間数から、契約月における「ダウンタイム」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。

## 4. テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポートは、電子メール、オンライン・フォーラム、およびオンライン問題報告システムを介して提供されます。IBM の IBM Software as a service support guide ([https://www.ibm.com/software/support/saas\\_support\\_guide.html](https://www.ibm.com/software/support/saas_support_guide.html)) には、テクニカル・サポートの連絡先情報ならびにその他情報およびプロセスが規定されています。テクニカル・サポートは「クラウド・サービス」と共に提供されるものであり、別個のオファリングとして提供されるものではありません。

## 5. エンタイトルメントおよび課金情報

### 5.1 定義

次の用語は以下の定義のとおりとします。

**消費者製品または CP** – 物品またはコンポーネントのうち、消費者に直接販売するために製造または配布されるものをいいます。例として、「消費者製品」には服飾および履物、飲食料品、介護用品、耐久消費者製品や家電製品、非耐久消費者製品、特製品、ペットのケア製品などが含まれますが、自動車、飛行機、金融商品、サービス、家などは含まれません。

**含まれるビジネス** – お客様が「クラウド・サービス」を使用するためにサブスクライブする事業部門、ビジネス・ユニットまたは販売チャネル (例えば、実店舗に対してオンラインの e-コマース) をいいます。

**含まれる地域** – その地域でお客様が「クラウド・サービス」の利用をサブスクライブする地域をいいます。

**小売業者** – 消費者による直接消費のために小口または個別ロットでの「消費者製品」の販売にかかわるお客様をいいます。

**総売上高** – 初回の期間または更新する期間よりも前の過去の報告された 12 か月間に基づき、「含まれるビジネス」が販売した製品の販売から生じる、「クラウド・サービス」をサブスクライブしている法人の総販売額 (適用される売上税は除く) をいいます。IBM は、合併または買収の結果として「含まれるビジネス」に対して本業以外のビジネス成長がある場合、「総売上高」を再計算する場合があります。お客様は「含まれるビジネス」の「総売上高」に影響を及ぼす合併または買収を速やかに IBM に知らせます。

本書で定義されていない用語は、「クラウド・サービス契約書」で定義されています。

### 5.2 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- 「エンゲージメント」は、サービスを取得する際の課金単位です。「エンゲージメント」は、「クラウド・サービス」に関連するプロフェッショナル・サービス、研修サービスまたはその両方のサービスで構成されます。それぞれの「エンゲージメント」をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- 「ミリオン収益変換単位 (MRCU)」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「収益変換単位」とは、「クラウド・サービス」に関連する、通貨に依存しない「収益」の測定単位です。通貨固有の「収益」金額は、「変換単位表」([http://www.ibm.com/software/passportadvantage/conversion\\_unit\\_table.html](http://www.ibm.com/software/passportadvantage/conversion_unit_table.html)) に掲載されている表に従って、「RCU」に変換する必要があります。「MRCU」エンタイトルメントは 1 件あたり、100 万「RCU」に相当します。下記の「収益」金額をカバーするのに十分な「MRCU」エンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

注: 「収益」の定義または適用範囲は、以下のように特定の「クラウド・サービス」オファリングにより異なります。

クラウド・サービス	収益定義
IBM Price Management IBM Dynamic Pricing IBM Deal Management IBM Deal Management: Bill Distribution Module	「収益」は、お客様が「クラウド・サービス」と併用する予定の「含まれるビジネス」の「総売上高」です(サブスクリプションは「含まれるビジネス」の特定の製品カテゴリーに限定される可能性があります)。
IBM Price Optimization	「収益」は、お客様が最適化をする予定の「総売上高」です(サブスクリプションは「含まれるビジネス」の部分に限定される可能性があります)。
IBM Promotion Optimization IBM Promotion Planning	「収益」は、「プロモーション対象品目」の販売によって生成される「含まれるビジネス」の「総売上高」です。本「クラウド・サービス」において、「プロモーション対象品目」とは、何らかの形式のプロモーションと関連して一時的に装備および割引(またはそのいずれか)される製品または販売される製品です。これには、一時的な値下げ(TPR)、広告またはチラシ内での言及、実店舗のセカンダリーのロケーションまたは Web サイトやクーポンのメイン・ページでの表示などが含まれますが、これらに限られません。「プロモーション対象品目」には、「値下げ品目」は含まれません。
IBM Markdown Optimization	「収益」は、「値下げ品目」の販売によって生成される「含まれるビジネス」の「総売上高」です。本「クラウド・サービス」において、「値下げ品目」は、値下げ価格で販売される製品のことをいい、通常、クリアランス・セールをはじめ、過剰供給を処分することを目的としています。

### 5.3 プラットフォーム・イネーブルメント・サービス

「プラットフォーム・イネーブルメント・サービス」において、「収益」とは、「含まれるビジネス」の「総売上高」を指します。

購入すべき適切な「プラットフォーム・イネーブルメント・サービス」レベルを判断するためには、お客様はまず、自社に適用する適切な「ビリオン収益変換単位」(BRCU)を確認する必要があります。

「BRCU」とは、「クラウド・サービス」に関連する、通貨に依存しない「収益」の測定単位です。通貨固有の「収益」金額は、[http://www.ibm.com/software/licensing/conversion\\_unit\\_table](http://www.ibm.com/software/licensing/conversion_unit_table)に掲載されている表に従って、「BRCU」に変換する必要があります。「BRCU」エンタイトルメントは1件あたり、10億(10の9乗)「RCU」に相当します。算出された「BRCU」は、課金期間中に「クラウド・サービス」によって処理または管理される「収益」の金額をカバーするのに十分であるものとします。

- レベル 1 = 最大 3 BRCU
- レベル 2 = 最大 8 BRCU
- レベル 3 = 最大 15 BRCU
- レベル 4 = 16 BRCU 以上

### 5.4 セットアップ料金

1回限りのセットアップ料金は、発注された各セットアップ・サービスに対して「取引文書」に記載された料金で請求されます。

#### a. IBM Omni-Channel Merchandising One-Time Setup

「クラウド・サービス」の初回のプロビジョニングに対して1回限りのセットアップ料金が適用されます。料金および支払条件は、「取引文書」に明記され、これに従って請求されます。

#### b. IBM Omni-Channel Merchandising Additional Application Setup Fee

IBMは、注文された各「Additional Application Setup Fee」に対してセットアップ料金を請求するものとします。料金および支払条件は、「取引文書」に明記され、これに従って請求されます。

## 5.5 リモート・サービス料金

リモート・サービス料金は、当該リモート・サービスに対して「取引文書」に記載された料金で請求されます。「クラウド・サービス」のお客様は、以下のリモート・サービスを取得できます。

- IBM Price Management – Platform Enablement Services
- IBM Promotion Planning – Platform Enablement Services
- IBM Price Optimization – Platform Enablement Services
- IBM Price and Promotion Optimization – Platform Enablement Services
- IBM Promotion Optimization – Platform Enablement Services
- IBM Markdown Optimization – Platform Enablement Services

### 5.5.1 IBM Price Management – Platform Enablement Services、IBM Promotion Planning – Platform Enablement Services

IBM は以下を行うものとします。

- a. 適切な「クラウド・サービス」オファリングについて関連する IBM Import Data Specification Document にあるすべての必須データ・フィールド (以下「お客様データ」といいます。) を取得するためにお客様と協力します。
- b. 週次または日次で「お客様データ」を受信およびロードし、標準ツールを使用してデータ変換インターフェース (インバウンドおよびアウトバウンド) を維持します。お客様が初回実装後に「お客様データ」の形式を変更し、異なる形式でお客様に伝送でファイルを戻すように要求するか、または IBM にデータ・マップおよび自動化スクリプトを変更して新規データを利用するよう要求する場合は、追加料金が適用される場合があります。
- c. 実装チームのロールオフ後にお客様が確実にサポートされるようにする、標準の継続的なアカウント管理サービスを提供します。このアカウント管理サービスはリモートで提供され、週 4 時間を超えないものとします。

### 5.5.2 IBM Price Optimization – Platform Enablement Services、IBM Promotion Optimization – Platform Enablement Services、IBM Markdown Optimization – Platform Enablement Services、IBM Price and Promotion Optimization – Platform Enablement Services

IBM は以下を行うものとします。

- a. 適切な「クラウド・サービス」オファリングについて関連する IBM Import Data Specification Document にあるすべての必須データ・フィールド (以下「お客様データ」といいます。) を取得するためにお客様と協力します。
- b. 週次または日次で「お客様データ」を受信およびロードし、標準ツールを使用してデータ変換インターフェース (インバウンドおよびアウトバウンド) を維持します。お客様が初回実装後に「お客様データ」の形式を変更し、異なる形式でお客様に伝送でファイルを戻すように要求するか、または IBM にデータ・マップおよび自動化スクリプトを変更して新規データを利用するよう要求する場合は、追加料金が適用される場合があります。
- c. モデル化された製品カテゴリーに対して標準のデータ検証を実施します。データ検証は、「お客様データ」を実行および確認して潜在的なエラーや異常を探し出す自動化ジョブで構成されます。
- d. 「プロジェクト計画」に従い、各製品カテゴリーに対して標準の計量経済学的なモデリング・サービスを提供します。これらのサービスには、モデリング・データ・セットの作成、モデル品質の評価、および必要に応じてモデルのトラブルシューティングが含まれます。これには、含まれる製品カテゴリーのそれぞれに対する初期モデリング、および IBM が合理的に評価したカテゴリーの力学に基づいた妥当な周期で行う継続的な再モデル化が含まれます。お客様によるデータ変更の場合、IBM はお客様と協力して、変更された履歴データの再ロードおよび影響を受ける製品カテゴリーの再モデル化を保証するかどうかを判断します。そのときに合意された追加料金が適用される場合があります。

- e. 実装チームのロールオフ後にお客様が確実にサポートされるようにする、標準の継続的なアカウント管理サービスを提供します。このアカウント管理サービスはリモートで提供され、週単位で6時間を超えないものとします。

### 5.5.3 プラットフォーム・イネーブルメント・サービスに対するお客様の責任

お客様は、以下を提供する責任を負うものとします。

- a. IBM リソースに対して、必要に応じて、割り当てられた「プラットフォーム・イネーブルメント・サービス」活動を完了するための直接アクセス。
- b. プロジェクトに取り掛かるのに適切なレベルおよび数のお客様のリソース。これには以下が含まれます。
  - IBM のデータ統合チームと協力し、適切なデータ・インターフェースを作成および保持する IT プログラマー。
  - アプリケーション要件がデータ抽出のコンテンツに適切に変換されていることを確認するビジネスの担当員。
  - 以下の要求される技術上およびビジネス上のプロセスに関する作業を実行する強力なプロジェクト・チーム。
    - 関連するデータ・マッピング資料
    - 合意したタイムラインでの「お客様データ」の伝送
    - 最新の「IBM インポート・データ仕様文書」に規定されている、IBM の形式に一致する「お客様データ」
    - 適時に問題に対処するためのリソース
    - 提供された情報が正確であることを保証するためのお客様のサポート

お客様は、お客様が上記義務を実行しない場合、「プラットフォーム・イネーブルメント・サービス」を提供する IBM の能力に影響が及ぶ可能性があることを了承します。お客様の上記タスクの不履行が原因で、または IBM の責めに帰すことのできないその他の状況のために、「プラットフォーム・イネーブルメント・サービス」が遅れるか、または「プラットフォーム・イネーブルメント・サービス」を提供する IBM のコストが上昇する場合、追加料金が適用される場合があります。かかるサービスの追加料金および支払条件は別途適用され、「作業指示書」に記載されます。

### 5.6 請求頻度

選択された請求頻度に基づき、IBM は請求頻度期間の開始時点で支払い期日の到来している料金をお客様に請求します。ただし、後払いの対象となる超過分や料金の使用タイプは除きます。

### 5.7 検証

お客様は、i) IBM およびその独立監査人がお客様の本契約の遵守状況を検証するために合理的に必要となる記録、システム・ツールからの出力を保持し、要求に応じて提供し、ならびに ii) かかる検証の結果必要と判断されたエンタイトルメントを、IBM のその時点で最新の料金ですみやかに注文して支払うほか、その他の料金および債務を、IBM の請求書の記載に従い支払うものとします。これらの遵守状況検証義務は、該当する「クラウド・サービス」の有効期間中、およびその後の2年間有効に存続します。

## 6. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも90日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続利用の場合は、「クラウド・サービス」は、お客様が 90 日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる 90 日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

## 7. 追加条件

### 7.1 共通事項

お客様は、IBM が広報活動またはマーケティングのコミュニケーションにおいて、お客様を「クラウド・サービス」の利用者として公に言及できることに同意します。

お客様は、「クラウド・サービス」を、単体または他のサービスもしくは製品と組み合わせて、高リスク活動、即ち核施設、公共交通システム、航空管制システム、自動車制御システム、兵器システム、または航空機の航行もしくは通信の設計、構築、管理、もしくは保守、または「クラウド・サービス」の障害が生命の危険や重大な人身傷害を引き起こすおそれがあるその他のいかなる活動のサポートのためにも使用しないものとします。

### 7.2 データおよび最小機器に関する要件

「クラウド・サービス」を使用するには、お客様は、データが提供される日に有効な「IBM インポート・データ仕様文書」に記載される製品データ、財務データ、その他のデータ（以下「インポート・データ」といいます。）を IBM に提供しなければなりません。最新の「IBM インポート・データ仕様文書」のコピーは契約の署名後に提供され、IBM が自己の裁量で随時行う変更が適用されます。さらに、各「クラウド・サービス」にはサービスにアクセスするための最小機器要件があります。これは、サービス仕様書に記載され、必要に応じて入手できます。

### 7.3 小売業者の取引先によるインポート・データの使用

お客様がサブスクリプション期間中に、IBM Deal Management、または IBM Deal Management: Bill Distribution Module をサブスクライブした場合、お客様は、同じく「クラウド・サービス」にサブスクライブしており、お客様の「インポート・データ」へのアクセスを必要とするお客様の消費者製品取引先に「クラウド・サービス」を提供するために、IBM がお客様の「インポート・データ」を使用することを許可します。

### 7.4 プレビューの制限

「クラウド・サービス」が「レビュー」に指定されている場合、その「クラウド・サービス」は、お客様の社内での非実稼働活動またはレビュー活動に対してのみ使用することができます。この活動には、テスト、パフォーマンス調整、障害診断、内部ベンチマーキング、ステージング、品質保証活動、または公開されたアプリケーション・プログラミング・インターフェースを使用して行われる「クラウド・サービス」に対する内部使用の追加機能または拡張機能の開発などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。お客様は、「クラウド・サービス」のいかなる部分も、実稼働に関する適切な使用許諾を取得せずに、その他の目的で利用することはできません。